

危険物新聞

第 6 0 7 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 植 田 晃
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号

四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

第 2 回 危険物取扱者試験

9月26日(日) 近大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成16年度第2回危険物取扱者試験を9月26日(日)、東大阪市の近畿大学で次のとおり実施します。

また、16年度より受験願書の受付方法が郵送を主体としたものになっています。もちろん従前どおり(財)消防試験研究センター大阪府支部の事務所に受付期間中に持参しても結構です。

平成16年度 第2回危険物取扱者試験

試 験 日	9月26日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種(午後) 4類以外の乙種(午後) 丙種(午後)
試 験 会 場	近畿大学(東大阪市)
願書受付期間	8月10日(火)~26日(木)
願 書 受 付 (郵送又は持参)	(財)消防試験研究センター 大阪市中央区谷町2-9-3 近鉄大手前ビル2F TEL06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は次のとおりです。

- ・午前……9時30分(試験開始10時より)
- ・午後……13時(試験開始13時30分より)

〔 受験準備講習会受付 〕

〔 8月16日(月)より始まる 〕

平成16年度第2回危険物取扱者試験が近畿大学で実施されることに伴い(財)大阪府危険物安全協会では、危険物取扱者の資格取得のための受験準備講習会を次のとおり開催します。

当講習会では過去に出題された問題や傾向を詳細に分析し、また、各講師の的をしぼった判り易い講義が行なわれるので、受講者の合格率は非常に高い数字を修めています。

この準備講習会の受付は、8月16日(月)から8月25日(水)の間、府下9受付会場で行ないます。

また、準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、枚方、東大阪、高槻など府下10会場で実施します。(詳細については8頁参照のこと)

第1回の試験結果

甲種 43.7%、乙種4類 40.6%

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成16年度第1回危険物取扱者試験を平成16年6月6日、近畿大学(東大阪市)で実施しましたが、このたび、その結果が発表されました。

平成16年度第1回危険物取扱者試験結果

区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率 (%)
甲 種	339	148	43.7
乙 種 1 類	111	91	82.0
乙 種 2 類	108	92	85.2
乙 種 3 類	92	74	80.4
乙 種 4 類	3,753	1,522	40.6
乙 種 5 類	111	93	83.8
乙 種 6 類	149	111	74.5
丙 種	840	475	56.5

平成16年度第2期

保安講習の開催について

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等（化学工場、油槽所、塗料販売店、ガソリンスタンド、タンクローリー等の危険物施設）で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者（危険物保安監督者も含む）は、定められた期間内に受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内（ただし、免状を取得した日、または前回講習会を受講した日から3年以内）となっています。（規則第58条の14）

また、受講義務者が、受講期限内に受講しないときは、消防法違反となり、免状の返納を命じられることがあります。

第2期分の案内書配布中

平成16年度より、郵送受付を原則として実施しています。2期分（9月7日～11月30日）の案内書はただいま各消防本部及び消防署予防課で配布しています。

また、郵送受付期間は8月4日(木)から8月19日(木)まで（当日消印有効）を予定しています。案内書に添付の専用封筒にて当協会までお送りください。（受講申請書及び専用封筒は各期共通で使用できます）

なお、持込受付とする場合も可能です。

〔持込みされる場合は8月5日(木)から8月11日(木)まで当協会事務所で受付します。〕

＜申請手続きの流れ＞

1.

受講申請書（各消防本部・消防署で配布）に必要事項を記入し、受講手数料の証紙（4,700円：「大阪府証紙売りさばき場所」は「開催案内」に記載）を貼付け、裏面の返信用ハガキに住所等を記入し50円切手を貼付け、受付期間内に所定の封筒に入れて本協会宛郵送。

2.

返信用ハガキで、本人宛に受講票（決定した講習日・会場を明記）を郵送。

3.

講習日に受講票（決定した講習日・会場を明記）、免状及び筆記用具を持参して受付に提示。（テキストは講習会場でお渡します。）

4.

講習終了時に免状に受講済公印を押し受講者本人にお返しします。

〔問合せ先〕

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7（四ツ橋ビル）
財大阪府危険物安全協会

TEL 06-6531-9717

平成16年度 第 2 期危険物取扱者保安講習日程表

◇ 一般の部

回数	実施日・開始時間			講習会場
21	9月7日	火	9:30	豊中市消防本部
22	9月7日	火	13:30	豊中市消防本部
23	9月9日	木	9:30	茨木市福祉文化会館
25	9月10日	金	13:30	松原市消防本部
28	9月22日	水	13:30	和泉市立人権文化センター
33	10月8日	金	13:30	守口門真商会館
37	10月18日	月	13:30	八尾市消防本部
39	10月20日	水	9:30	大阪府商工会館
43	11月5日	金	9:30	北河内府民センター
44	11月5日	金	13:30	北河内府民センター
45	11月10日	水	13:30	大阪府商工会館
46	11月11日	木	13:30	柏羽藤消防本部
47	11月26日	金	13:30	富田林市消防本部
48	11月29日	月	13:30	大東市消防本部
49	11月30日	火	13:30	高槻市消防本部

◇ コンビナートの部

回数	実施日・開始時間			講習会場
36	10月13日	水	13:00	住友金属工業㈱
41	10月21日	木	13:00	住友金属工業㈱

◇ 給油取扱所の部

回数	実施日・開始時間			講習会場
24	9月9日	木	13:30	茨木市福祉文化会館
40	10月20日	水	13:30	大阪府商工会館

◇ タンクローリーの部

回数	実施日・開始時間			講習会場
20	9月4日	土	9:30	大阪府トラック総合会館
26	9月11日	土	14:00	大阪府トラック総合会館
32	10月7日	木	17:30	*臨海センタービル
35	10月12日	火	17:30	*臨海センタービル

- 注1. 保安講習の講習時間は3時間です。
(開講時間は、講習会場によって異なります)
- 注2. 会場欄*印の会場は駐車可。

**時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー**

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する画期的なはしご車

SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22

大型化学車
MC-BC

『省力化合格機種!』

泡原液搬送車

〒544-8585 大阪市生野区小狭奥5丁目5番20号
Tel:06-6756-0110 Fax:06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社 **モリタ**

第24回 安全管理論文 優良賞

「当社の安全管理と 防災管理について」

住友電工ファインポリマー株式会社
有村 幸夫

1 はじめに

当社は熱収縮チューブ『スミチューブ』や耐熱チューブ『イラックスチューブ』に代表される照射製品と『スミフロンコートアルミ、スミフロンローラー』に代表されるフッ素樹脂製品の2つの事業を柱に1999年7月に住友電工から分社・独立しスタートしました。住友電工で培われた「材料配合」「放射線照射」「表面改質」「多孔化」等の様々な技術をベースにひと味違った、特徴のある製品の製造と開発に取り組んでいます。

当社は市街地に立地し、高層マンションが隣接する一方で農地や農業用水路が敷地内を走っており環境には細心の注意を払っています。このため全従業員が一致協力して環境保全に努め、住友電工時代の1997年7月に環境管理の世界基準であるISO14001の認証を取得しています。

今回、当社の安全に関する活動と防災管理について紹介することになりました。皆さんの参考になるような際立つ活動ではなく担当者としては戸惑いもありますが、住友電工時代からの基本方針であります「基本に忠実に、かつ愚直に」を旗印に取り組んできました活動について説明いたします。

2. 安全、防災管理について

(1) 当社の安全衛生組織と活動

当社は全社方針として「完全無災害達成と健康で快適な職場を目指す」「ケガゼロ」「災害ゼロ」の取り組みをスローガンとして掲げ、全員参加で次の(表1)の委員会と組織で取り組んでいます。

日常の安全はこうした各種委員会による安全巡回はもちろんですが、むしろ(表2)の様な各職場・個人での地道な活動にこそ支えられてると言ってもよいでしょう。

(表1) 安全衛生組織と取り組み内容

名称	構成	開催頻度	実施内容
中央安全衛生委員会	安全担当役員、安全管理者 工場長、設備部長、組合代表	1回 /月	巡回、調査、統計、対策、議案内容、審議事項決定
安全衛生専門委員会	安全担当部長、各部安全責任者	2回 /月	巡回、調査、対策、訓練、教育、標準整備
放射線安全専門委員会	委員長、放射線取り扱い主任者 施設・使用・安全部門長	1回 /3ヶ月	報告、調査、対策、教育
職場安全衛生委員会	工場長、掛長以下全員	1回 /月	職場巡回、安全衛生問題の解決

(表2) 各職場での取り組み内容

1. 危険予知運動	6. ヒヤリメモ、危険予知提出強化
2. 指差喚呼運動	7. 新KYT運動
3. 5S・ヒヤリメモ提出運動	8. 6SMAP運動
4. モデル設備運動	9. 一人KY導入、ミニ6S
5. 3S運動	10. 安全度チェック、3S強化

3. 予防活動の実際

(1) 年間目標の設定

私たちは安全、防災の取り組みは先ず年間の計画立案から始まります。立案に際してはそれまでの防災活動で不十分であった点、安全対策が不十分な機械設備の改善、不安全行為の洗い出しなどテーマ毎に月間活動内容に反映させるように努めています。

災害撲滅のためには個人ひとりひとりが安全・防災に対して興味を持ち感性を高めて行く事が重要であるとの認識から、2002年より、出退勤時やお客様・協力会社の方々との構内外での挨拶、あるいは

横断歩道を渡る際の指差呼称、製造現場では危険ポイントでの指差呼称を実施する「声掛け運動」と「リスクアセスメント」の導入を中心に推進しています。

年間計画はまず安全衛生専門委員会で素案を作成し、種々な角度から検討を加えて最終的に中央安全衛生委員会で審議承認されます。

(2) 具体的な予防活動の取り組み

① 防災巡回

日常より各委員会でのパトロールや自主的な巡回を繰り返し行い不安全行動の是正や対策改善の徹底に努めておりますがこれで全てを防げる訳ではありません。状況は絶えず変化しており、昨日実施した対策が今日も有効である保証はなく、その状態、変化に対応した対策と行動をとることが大事です。巡回で現場を見回る際にはどんな小さな危険因子をも見つけ出せるよう、常に感性を高めておくことが不可欠です。

② 消火訓練

自衛消防組織のもと年間計画に従い、初期消火に努めるべくとっさの判断で確実な消火活動が出来るよう計画的に実施しています。

③ 地震避難訓練及び危険物流出防止訓練

④ 危険物災害予防対策合同訓練

⑤ 放射線災害予防対策防災訓練

危険物に起因する災害の怖さは毎年全国で繰り返し発生する爆発や火災等でわかるとおり、ひとたび発生した場合にはその影響は計り知れません。また、当社が立地している近隣には原子力発電用燃料の製造会社や、原子力関係研究施設が隣接しており、後で述べますがこれらの放射線関連機関とも連携した災害予

防対策の一環で各社持ち回りの防災訓練を合同で実施しています。地域社会との連携を図る目的で9月の防災の日には地震避難訓練及び危険物流出防止訓練や、危険物安全週間には危険物災害訓練なども熊取町消防署、管内ガソリンスタンドの方々との合同総合訓練として実施しております。

(3) 日常の教育訓練

安全・防災管理で特に重要なのが教育訓練であります。危険物、有害物の取り扱いを始め、快適な職場環境を維持するためには目的に合った教育が必要不可欠であります。当社では、これまで現業部門を中心に年間計画の中で特別教育、自主教育等を実施してきましたが、一方作業現場に作業や材料などの取り扱い指示を行うスタッフには基本的な知識が必要であり、作業への安全配慮を十分に認識した上で指示を行うことが求められております。スタッフは、学生時代に基礎知識は習得しているものの、頭の中だけの知識に留まり、例えば保護具の必要性、溶剤使用後の蒸気発散源防止策等、細かな安全配慮に関する知識が乏しく適切な作業指示が出来ておりませんでした。

そこで2003年度よりスタッフ部門においても現場作業への教育と同じように、年間の教育計画の中に特別教育や自主教育カリキュラムを組み入れ、作業への安全配慮の重要性を認識するような体系に改善いたしました。

(4) 情報の共有化

私たちの親会社である住友電工は、ここ数年の間に分社化を進めグループ経営を推進しています。その中で、安全・防災面での優れた点として、あるグ

お好きな色を…!

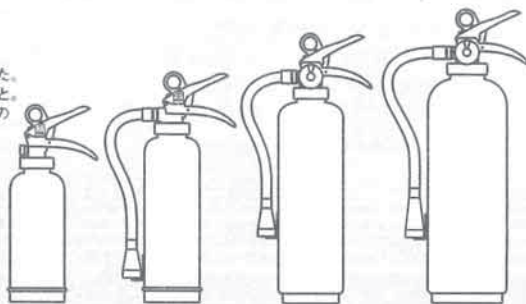
お客様の声をカタチにできるブランナーを目指します。

おかげで100年の長きにわたり消火器・消火設備の総合メーカーとして歩むことができました。長い歩みを振り返り、私たちが考える将来の企業像は「もっとお客様に近い会社」であること。謙虚な気持ちで原点に立ち戻り、お客様のニーズに合った商品開発・ご提案を通じて、社会の利益に貢献したいと考えています。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

本社 〒573-1132 大阪府枚方市初田近3-5 TEL (072) 858-1281
 東京支社 〒140-0013 東京都品川区南大井2-9-3 TEL (03) 5471-7411
 関西支社 〒555-0013 大阪府西淀川区千舟1-5-47 TEL (06) 6473-4870



ループ会社で発生した傷害、災害事故については、直ちに他の全グループ会社に「傷害速報」あるいは「他山の石」として伝えられ情報が共有化されます。これにより、類似の作業、設備、環境面での傷害事故、災害事故を未然に防止するというすばらしい仕組みが出来上がっています。

昨年はごみ固化燃料発電所の爆発火災やタイヤ工場の大火災等社会を揺るがす大災害が発生しました。我々住友電工グループ会社、数社でもダクト火災や重大ヒヤリが発生しました。幸いにも、早期発見で事なきを得ましたが、発見が遅れたり処置に手間取っていたら大きな災害になっていたかも知れません。このダクト火災が発生した際にもその状況と原因・対策が全グループ会社の安全担当部署に直ちに情報が伝えられ、類似災害の未然防止を目的として徹底した調査、対策並びに改善の指示がなされました。

当社にもたくさんの危険物・有機溶剤排気ダクト、熱処理排気ダクト及び集塵機等が配置されており、この横展開により徹底的に調査、改善を実施しました。その結果、中には設置後数十年で一度も内部を点検確認する機会が無かったダクトもあり、結果的には火災の危険性をはらむダクトが数カ所で発見されました。このため工場の操業計画を一部変更してダクトの取り外し、内部清掃及び点検口取り付けを行いました。半年足らずの間に全工場のダクトを点検及び清掃を行って危険因子である堆積物を一掃出来た事は極めて大きな収穫でありました。加えて、これを機に予防対策としてダクト内消火設備の設置、点検口の設置、ダクト清掃基準、頻度等の標準化を行い定期的なダクト点検、確認を容易に出来るようにしました。

(次号に続く)

安全への道 39

「1と0の差は単に1か？」

財大阪府危険物安全協会
専任講師 三村 和男

ここ30年間における台風の発生は、年平均28個、そのうち日本に上陸するものは平均3個のようである。夏台風は複雑な動きをすることが多く、秋台風は南海上で進路を北東に変え、日本に接近し秋雨前線を刺激して大雨を降らすことが多いのが特徴。

1959年、未曾有の被害(死者4,697、不明401)を出した伊勢湾台風から45年になる。その時の筆者の工場体験は573号で紹介した。今回は、周辺の工場に比べて被害が極めて少なかった住友軽金属(以下S金属)の教訓をとりあげたい。

S金属の工場は名古屋港埋立地の一画、堀川右岸にあったが台風の翌々日、9月28日に操業を再開している。(筆者の工場では1ヶ月間運転不可)

周辺一体が水没した臨海工場地帯で、この工場だけがほとんど無傷であった。当時、その状況について、東京農大小出博教授が雑誌「自然」に「伊勢湾台風の背景—その教訓」の中で次のように述べている。少し長くなるが紹介したい。

「名古屋には台風がこないという『神話』があった

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467(代表)

株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工研ビル ☎6358-9467-8

ようだ。S金属の工場が建ったとき、地元の人達は新工場が地盛りをした上に建設され、護岸を高く造っているのを見て、この辺りは、絶対に水がつかないのにあんなことをして、まるで金を捨ててみたいものだといっていたそうだ。

S金属は、昭和9年(1934年)の室戸台風のとき、尼崎工場が高潮を受けて操業再開までに半年間を要した経験があり、名古屋工場を建てるにあたっては万全の害害対策を立てていたのだ。

台風にしる地震にしる自然エネルギーの激発は防ぐことができないけれども、被害はそれなりの備えがあれば避けることが可能だという事例である。

阪神大震災のときも、同じような『神話』があって、起きたときの対応に関する知識もなかったし、備えもなかったと当時の知事が、新潟地震40周年シンポジウムで発言されていた。

東レにおいても、初めての石油化学品を製造する川崎工場(現在は撤退)の建設に際しては、伊勢湾台風の教訓を生かし地盤を2m近く嵩上げした。伊勢湾台風から8年が経っていたが、反対意見もなく、実行できた。

同工場は、生産開始3年後(1971年)に台風による高潮で、海面が防波堤を越えて工場地盤面まで達したが、設備的被害もなく運転への影響もなかった。丁度その日は役員防災査察で同工場に行っていたので、予定した査察はできなかったが、台風対策についての実地検証ができた貴重な体験となった。タクシーで工場へ行く際、防波堤から150m程手前まで来たとき、高さ15mを超える波しぶきが立上るのを見たときは、想像以上に怖かった。近くのフェリーポート建屋の2階へ一時退避したのを覚えている。今、振り返ると危機管理が甘かったように思う。

もう一つ、1991年9月、北九州を直撃した台風19号(最大瞬間風速51.3%の風台風で、1954年9月の洞爺丸台風と並ぶ規模)によるLPG貯蔵タンクからのブタン漏洩事故を紹介しよう。


その事故とは同タンクへの受入配管(エア駆動方式の遮断弁取付、手動では開閉不可)に、台風で破壊した防波堤の一部が当たったため、配管が変形し、遮断弁のタンク側フランジに隙間を生じ漏洩した事故である。

当日の保安員は、弁を開いて、周囲の安全を確認しながら海上に液を放出廃棄しようとした。しかし、全停電のため駆動エアがでないためN₂ポンペを開いたが、エア配管が破損して圧力が上がらず開けない。そこで、遮断弁のシリンダーに直接ホースをつないでN₂ガスを注入して開き海上へ放出できた。(同作業は80cm浸水した状態で行われた)

防波堤は、通常30~50年に一度の頻度の波にも耐える設計がされているため、日頃所員一同が、防波堤の破壊を心配したことはなかった。しかし、100年に1回あるかどうかの災害だったが、「こんなことは起こらないと感ずるくらいの範囲の災害まで想定することが必要かつ重要だ」といっている。同感である。

気象衛星が打ち上げられてからは、台風の動きが居ながらにしてテレビで見られるようになったが、莫大な自然のエネルギーを避けることはできない。しかし、それなりの備えがあれば被害は最小限に抑えることが可能である。

一度だけでも体験したことがあるのと、全くないのとでは大きな差がある。1と0の差は1ではなく、はるかに大きいことがある事例を紹介した。やがて来る台風シーズンに備えを。

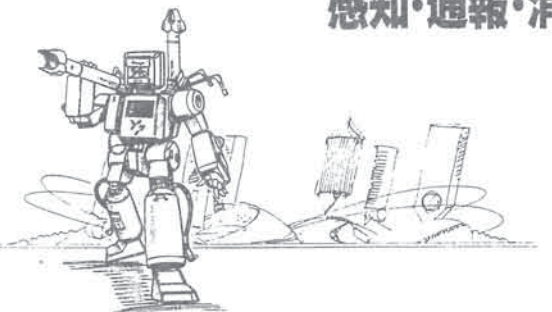


セイフティ・アメリキヤ

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・やりこ...

防災設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー「ヤマトロテック」は、防犯・防災・防犯・防犯・防犯の分野で、安全設備の「パシフィック」目的に合わせた防災機器の研究開発をおこなっており、ピーマンサイのシステムとして完成させています。

防災にも迅速な環境づくりの「パシフィック」は、防災・防犯・防犯・防犯・防犯の分野で、安全設備の「パシフィック」目的に合わせた防災機器の研究開発をおこなっており、ピーマンサイのシステムとして完成させています。



ヤマト・ロテック株式会社

本社 千537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 千108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

ビル防災設備 プラント防災設備 防犯・業務設備 各種防災機

危険物取扱者受験準備講習のご案内

平成16年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上と実力アップのため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	9月8日(水)、9月13日(月)、9月15日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙種 4類	1コース	9月13日(月)、9月14日(火)	大阪府商工会館
	2コース	9月16日(木)、9月17日(金)	大阪府商工会館
	3コース	9月8日(水)、9月9日(木)	堺市民会館 (南海高野線 堺東駅より8分)
	4コース	9月6日(月)、9月7日(火)	北河内府民センター (京阪 枚方市駅より5分)
	5コース	9月16日(木)、9月17日(金)	東大阪市民会館 (近鉄奈良線 永和駅よりスグ)
	6コース	9月2日(木)、9月3日(金)	高槻市消防本部 (JR・阪急 高槻駅より10分)
	土曜コース	9月4日(土)、9月11日(土)	大阪府商工会館
日曜コース	9月5日(日)、9月12日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四つ橋線 本町駅より15分)	
丙種	9月21日(火)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1コース～6コース)と日曜・土曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでご了承下さい。
- ③ 申し込み手続きは代理の方でも結構です。

受付場所	日時	
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	8月16日(月) 午前10:00～11:30
守口消防署内 (地下鉄守口駅前)	守口門真防火協会	8月16日(月) 午後2:00～4:00
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅より5分)	枚方市寝屋川市防火協会	8月17日(火) 午前10:00～11:30
高槻市消防本部内 (JR・阪急 高槻駅より10分)	高槻市火災予防協会	8月17日(火) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅より西へ10分)	岸和田市火災予防協会	8月18日(水) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会	8月18日(水) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	8月19日(木) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会	8月19日(木) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	8月23日(月) 3日間とも 8月24日(火) 午前9:30～午後4:30 8月25日(水) ただし、正午から40分間量食休み

3. 講習料

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成16年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種4類	12,600円	14,700円
乙種・土曜コース	13,650円	15,750円
乙種・日曜コース	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円